

若い視点で長井線PR



全国ローカル鉄道甲子園に向け、山形鉄道社員（中央）の助言を受けながら発表資料を作成する馬下智貴さん（左）ら
＝白鷹町・荒砥高

荒砥高生、全国ローカル鉄道甲子園出場へ

白鷹

広島県三次市で8月2、3の両日開かれる

「全国ローカル鉄道甲子園」に、白鷹町の荒砥高（丹野陽校長）が出場する。全国の高校生が、少子化や人口減少で存続が危ぶまれるローカル鉄道の未来を考えるイベントで、荒砥高は同町などを走るフラワー長井線の利用促進策を発表する。代表の3年生2人は「高校生ならではの発想で長井線をPRしたい」と意気込んでいる。

大会は、三次市が企業版ふるさと納税を活用し初めて開催する。ローカル鉄道を生かした地域づくりを進める全国9県の10校が参加し、それぞれの取り組みや将来に向けたアイデアを持ち寄って交流を深める。

荒砥高代表の児玉颯樹さん（17）と馬下智貴さん（17）は昨年10月、長井線を活用した観光ツアーに携わるなどしてきた。大会ではその

未来見据え考案、誘客策を発表

経験を踏まえ、沿線4市町にゆかりのある花をイメージしたラッピング列車と人気キャラクターのコラボレーションなど、新たな誘客策を提案する。

7月2日には、同線を運行する山形鉄道（長井市）の社員を同校に招き、助言を受けながら発表資料を仕上げた。児玉さんは「大会をきっかけに長井線を知り、『行ってみたい』『乗ってみたい』と思う人が増えればうれしい」、馬下さんは「全国の事例から多くを学び、長井線をもっと盛り上げるヒントを持ち帰りたい」と話している。

一般観覧できる初日のイベントは2日午後1時半から三次市民ホールきりりで開催される。高校生による「未来のアイデア・プレゼンテーション」のほか、来場者参加型のローカル線クイズも予定されている。鉄道愛好家として知られるお笑いコンビ「ダーリンハニー」の吉川正洋さんがゲスト出演する。問い合わせは三次市まちづくり交通課自治交通係0824（62）6395。

（野田達也）